

謹賀新年



おおきなせなかに
夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

広報

だいせん

第18号

101

平成18年1月1日

- 年頭所感 — 栗林次美市長・橋本五郎市議会議長 —
- 始まります「平成17年分所得申告」
- 特集「食育」
- 広報見聞録
- おおきなせなかに「お便りコーナー」

<http://www.city.daisen.akita.jp>

中仙地域の玉川に飛来している白鳥。春先まで、この地で越冬します。
合併して2年目は、実質スタートの年と位置づけ、さらなる飛躍を目指します。
今年も「広報だいせん」をよろしくお願いいたします。

基礎づくりに邁進

大仙市長
栗 林 次 美



市民のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

大仙市となりまして初めてのお正月を、ご家族それぞれの生活の中で、心新たにお迎えのことと思います。今年1年、市民のみなさまのご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

昨年3月22日に大仙市として産声を上げてから約10カ月、私が大仙市長として仕事をさせていただいてから、早いもので約9カ月あまりが経過いたしました。

新年におきましても、「市政は市民のために」を基本理念とし、情報公開や説明責任による開かれた市政の推進、住民参加よりさらに踏み込んだ「市民と協働の地域づくり」に努めてまいりますので市民のみなさまからの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、新市の基礎固めの年であり、最重要課題に掲げた、旧市町村の融和を図り新市の一体性を確保することに向けて、一生懸命に取り組んでまいりました。そのため、長期的な視点で市政運営の方針を示す総合計画をはじめ、地域防災、情報、男女共同参画、上下水道、学校施設整備など、今後の事業展開に必要な基礎資料を網羅した各分野ごとの計画

策定を進めてまいりました。

地域ごとの取り組みでは、住民との対話によって課題や提言を汲み上げる市長面会日を実施し、延べ34組の方々との面談いたしました。また、市民が地域の課題を主体的に話し合うための機関として地域協議会を設置し、今後の地域運営についてさまざまなご意見を伺いました。さらには、各種総会、夏まつり、野球大会、マラソン大会などのイベント、すべてのふるさと会への参加など、時間的に可能な限り地域主体の行事に参加し、住民とのふれあいを大切にしてまいりました。迎える平成18年は、大仙市にとりまして、合併の実質的なスタートの年と位置づけ、計画初年度となる総合計画に沿って「人が活き、人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向かって着実に一歩を踏み出してまいりたいと思います。

そのため、新市の都市機能を向上させる駅前第二地区土地区画整理事業を核として、国道13号と結ぶ駅東線街路整備事業、まちづくり総合整備事業を一体的に進めると共に、合併の効果を実感して頂くため、旧町村から継続している、まちづくり交付金事業の推進にも努めてまいります。また、新市の目玉事業として実施した子育て支援策、介護予防事業の充実や入所待機者の解消などが求められる高齢者支援策を継続し、少子高齢化の顕著な地域事情に沿った施策を進めてまいります。さらには、真木ダム代替案については、県との協議を継続して早期実現

を目指すほか、広域の課題である仙北組合総合病院の早期移転新築問題に取り組むと共に、現在事業を進めている一般廃棄物最終処分場などを着実に完成させ、安全で安心な暮らしの基盤を構築してまいりたいと思います。

しかしながら一方で、当市の財政事情は大変に厳しく、財政の硬直化が進んでいることから、一層の行財政改革が必要であります。また、国の三位一体改革による影響から、計画どおりの地方交付税確保が困難になっており、補助金の削減に見合う税源の委譲も不十分であり、地方分権の推進には課題が残されたままです。さらには、地域経済の低迷による税収の落ち込みなど、思い切った見直し無くしては、切り抜けるのが困難な状況であります。こうしたことから、予算編成に際しては既成の考え方にとらわれない、柔軟な思考と果敢な判断が必要であり、大仙市全体の優先順位という観点から各事業を見直し、生活者の視点に立つて、組み立てたいと考えております。いずれ、今年1年も大仙市建設の基礎づくりの一環と位置づけ、市全体のバランスを考慮しながら、農林業振興、商業・雇用対策、都市計画、子育てと教育、医療・保健衛生・福祉、芸術文化スポーツ、情報基盤など、各分野の重要課題の解決に向けて努力してまいりますので、市民各位の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



新春を迎えて

大仙市議会議長
橋 本 五 郎

明けましておめでとうございます。
新春を迎え、市民のみなさまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民のみなさまには、平素より議会活動並びに市政運営に對しまして暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。第でございます。

本年も旧年に倍しまして、大仙市のさらなる発展のために、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国内においては、紀宮さまのご結婚という慶事もありましたが、依然として低迷する景気状況、雇用環境、また、女兒が被害者となる目を覆いたくするような凶悪事件、耐震強度を偽装した問題など社会生活を脅かす事件の発生、

一方、国際的には多発するテロ事件や緊張感を増す対中韓関係など総じて暗い出来事が多かったように思えます。

このような中、当市におきましては、昨年3月22日に1市7町村が大同合併し、県下第2番目の人口を擁する新市として誕生した大

仙市の議会は、3月28日に合併後の初議会を開催し、将来の大仙市の礎となる重要な議案等を議決してスタートいたしました。

その後、在任特例期間が9月30日で終了したことにより、10月1日からは、選挙で選ばれた30人の新議員による議会が発足し、10月14日には選挙後の初議会を開催して常任委員会委員の選任など新たな議会構成が決まりました。

選挙後の初議会において私が議長に就任させていただき2カ月余りが過ぎましたが、その責任の重大さを考えました時改めて身の引き締まる思いでございます。

現在、国が進める三位一体改革により地方行政制度が大きく変貌しつつありますが、地方自治体を取り巻く環境は、依然厳しい財政事情と急速に進む少子・高齢化を背景に、行政改革を初めとする重要な課題が山積しており、誠に厳しい状況であります。

このように厳しい状況下の時にこそ、市政に携わる者が一丸となって英知を結集し、市民生活の向上のため、効率的な行政運営によって種々の施策を充実させていく必要があると認識いたしております。

本年は、将来の大仙市全体の分野における均衡ある発展をめざす施策推進のための重要な1年であると思

われます。

市議会といたしましても、新市将来像の基本目標に掲げた「大地の恵みを活かした安全、信頼の食糧供給基地」

「住む人々訪れる人々が日本一の笑顔と豊かな心に出会う故郷」

「住民が主役、住民と一緒に創るパートナーシップ(協働)のまち」

の実現に向けて、市民のみなさまの声に耳を傾け、社会の変化に伴い複雑化、多様化する行政需要を的確に把握し、その声を市政に反映させていくとともに、より開かれた市議会を目指して、さらなる努力と研鑽を重ねつつ、常に市民の目線に合わせながらみなさまの負託にこたえるよう決意を新たにいたしております。

本年も議会活動に對しまして、温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、大仙市のさらなる発展と市民のみなさまのご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



所得申告は、大事な税金の手続きです 始まります「平成17年分所得申告」

市内、どこの会場でも申告できます

申告期間

2/1(水)から 3/15(水)まで

受付時間／午前 9 時～午後 3 時 30 分

会場／各地域の申告会場

必要なもの／印鑑(シャチハタは不可)、平成17年分の所得を証明できるもの(源泉徴収票、給与支払明細書、収支内訳書、帳簿など)、国民年金や健康保険税などの領収書・証明書、医療費の領収書など

【問い合わせ】

各総合支所税務課
本庁税政課

0187-63-1111(内線 263)まで

■申告が必要な方

昨年の申告状況から、今年、申告する必要があると思われる方には、1月20日ごろに申告書を送付します。

ただし、申告書が送付されない場合でも、新たに事業を始めた方や退職された方などは申告が必要な場合があります。

また、申告書が送付された場合でも、給与所得のみで勤務先で年末調整をされている方などは申告の必要がありません。

■都合のよい時、よい会場へ

混雑緩和のため、各地域ごとに申告会場を割り当てていますが、どの会場でも申告することができます。日程表を確認のうえ、会場へお越しください。申告期間中は、担当職員が申告会場へ出向いているため、各総合支所税務課での申告相談には応じられません。最寄りの申告会場へお越しください。

■申告相談に必要なもの

- ① 印鑑(シャチハタは不可)。
- ② 平成17年分の所得を証明できるもの
給与収入がある方は「源泉徴収票」、事業主が発行する「給与支払明細書」、事業所得または不動産所得がある方は「収支内訳書」、「帳簿」。

平日、忙しい方のために

日曜日の申告

日時／2月26日(日)午前9時～午後3時30分

会場／大曲仙北広域交流センター
神岡福祉センター、協和総合支所

日時／3月5日(日)午前9時～午後3時30分

会場／西仙北総合支所、中仙総合支所

日時／3月12日(日)午前9時～午後3時30分

会場／大曲中央公民館、協和総合支所
南外コミュニティーセンター

■日曜日に申告を行います

日曜日に申告を行います。平日、申告する時間がない方は、ぜひご利用ください。

- ③ 国民年金、国民健康保険税、介護保険料、生命保険料、損害保険料などの領収書または証明書
 - ④ 医療費控除の申告をされる方は、医療費の領収書
- ※各健康保険から発行される「医療費のお知らせ」は医療費の支払い証明になりません。必ず、医療機関が発行した領収書を持参してください。
- ※平成17年中に支払われた医療費の合計額を、申告前にあらかじめ計算しておいてください。

市県民税の申告相談日程表

月	日	曜日	大曲地域	神岡地域	西仙北地域	中仙地域	協和地域	南外地域	仙北地域	太田地域						
2月	1	水	大曲仙北広域 交流センター 2階研修室	神岡福祉センター	強首地区 多目的研修施設											
	2	木														
	3	金				中仙総合支所2階会議室			仙北就業改善センター							
	4	土														
	5	日														
	6	月	大曲仙北広域 交流センター 2階研修室	神岡福祉センター	強首地区 多目的研修施設	中仙総合支所 2階会議室	協和総合支所 4階大会議室		仙北就業改善 センター							
	7	火														
	8	水														
	9	木	大川西根公民館		西仙北林業者等 健康増進施設					太田文化プラザ 生活実習室						
	10	金														
	11	土														
	12	日														
	13	月	大川西根公民館		西仙北林業者等 健康増進施設	中仙総合支所 2階会議室	協和総合支所 4階大会議室	南外コミュニ ティセンター		太田文化プラザ 生活実習室						
	14	火	角間川公民館													
	15	水														
	16	木						仙北就業改善 センター								
	17	金		西仙北農村環境改善センター												
	18	土														
	19	日														
	20	月	藤木公民館	北楯岡公民館	西仙北農村環境 改善センター		協和総合支所 4階大会議室		仙北就業改善 センター	太田文化プラザ 生活実習室						
	21	火														
	22	水	内小友公民館					中仙総合支所 2階会議室				南外コミュニ ティセンター				
	23	木														
	24	金														
	25	土														
	26	日	大曲仙北広域交流センター	神岡福祉センター												
	27	月			西仙北農村環境改善センター	中仙総合支所 2階会議室	協和総合支所 4階大会議室	南外コミュニ ティセンター	仙北就業改善 センター							
	28	火														
3月	1	水	花館公民館		西仙北中央公民館								南外コミュニ ティセンター		太田文化プラザ 生活実習室	
	2	木														
	3	金														
	4	土														
	5	日														
	6	月	四ッ屋公民館	神清水コミュニ ティセンター	西仙北中央公民館	中仙総合支所 2階会議室	協和総合支所 4階大会議室			仙北就業改善 センター	太田文化プラザ 生活実習室					
	7	火														
	8	水														
	9	木	神岡福祉センター													
	10	金	大曲中央公民館					南外コミュニティセンター								
	11	土														
	12	日														
	13	月	大曲中央公民館	神岡福祉センター	西仙北中央公民館	中仙総合支所 2階会議室	協和総合支所 4階大会議室	南外コミュニ ティセンター	仙北就業改善 センター	太田文化プラザ 生活実習室						
	14	火														
	15	水														

税金の制度が変わります

税金の制度が変わることにより、特に65歳以上の方については、所得税や市県民税が高くなることが予想されますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

- ①市県民税の定率減税が15%から7.5%(上限2万円)に引き下げられました。
- ②老年者控除(65歳以上の方に適用。控除額は所得税で50万円、市県民税で48万円)が廃止されました。
- ③老年者非課税制度(65歳以上の方で合計所得金額が125万円以下の場合は市県民税が非課税になるという制度)が廃止されました。
- ④公的年金収入から差し引かれる控除額の最低額が140万円から120万円に引き下げられました。

■郵送での申告書提出

自分で市県民税申告書を記入する方は、申告書を郵送または直接各総合支所税務課へ提出することができます。なお、確定申告書(所得税)の提出先は大曲税務署です。ご注意ください。

3

大曲市民会館でチケット販売開始 「森山直太朗」コンサート

「さくら」などのヒット曲で知られる森山直太朗さんのコンサートが大曲市民会館で行われます。

チケットの販売日には混雑が予想されるため、一日限定のチケット予約日を設定、予約専用電話で対応します。

一日限定チケット予約日

日時／1月15日(日)

時間／午前9時～午後5時

【予約電話番号】

0187-63-7591

0187-63-7592

0187-63-7593

0187-63-7594 まで

※予約時に席番の指定はできません。チケットは1月17日(火)から大曲市民会館で引き渡します。

17日以降のチケットのお求めは大曲市民会館までご連絡ください。

※16日(月)は休館日です。

◆開催日時／3月6日(月)午後6時30分開演

◆会場／大曲市民会館

◆入場料／5,775円(全席指定)

【問い合わせ・申し込み】

大曲市民会館 0187-63-8766 まで

4

元読売巨人軍監督の講演会 堀内恒夫「私の野球人生」

昨シーズン巨人軍の監督として活躍した「堀内恒夫さん」の講演会を行います。現役時代のお話やシーズン中の裏話など、貴重なお話を聴いてみませんか。

参加には入場整理券が必要です。整理券は各地域の公民館で配布します。

◆日時／1月20日(金)午後6時30分～

◆会場／太田文化プラザ

◆参加費／無料(要入場整理券)

◆講師／前巨人軍監督・堀内恒夫さん

◆演題／「私の野球人生」

【問い合わせ・入場整理券配布場所】

各地域の公民館

太田公民館 0187-88-1119 まで

氏名／堀内恒夫(ほりうちつねお)
生年月日／S 23.1.16
出身地／山梨県
出身校／甲府商業高校
在籍球団／巨人
背番号／18
ポジション／投手
利き腕／右投右打
通算成績／203勝139敗6セーブ・奪三振1865・防御率3.27
獲得タイトル／新人王(S 41)・MVP 1回・最多勝1回・最優秀防御率1回・ベストナイン2回・ゴールデングラブ賞7回



市政ナビ

大仙市からのお知らせ

1

ご協力をお願いします

消防出初式の交通規制

消防出初式のため次の区間が一時通行止めとなります。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

◆日時／1月5日(木)午前8時45分～9時30分

【問い合わせ】

本庁住民課消防安全班(内線147)まで



2

出品・展示してくれる方を募集します

大仙市産業展示館

季節感あふれる作品を出品・展示してくれる方を募集します。一定期間ごとに展示作品の入れ替えを行いますので、展示を希望する方は、大曲公民館備え付けの申込用紙でお申し込みください。

◆展示資格／個人および団体の作品。(販売等を目的としたものは展示できません)

※写真や絵画の展示についてはご相談ください。

◆期間／4月1日から平成19年3月31日まで

◆会場／産業展示館(大曲大町)

◆展示料／無料

◆申込受付期限／2月28日(火)

【問い合わせ・申し込み】

大曲公民館 0187-62-1312 まで

市役所の電話番号は

0187-63-1111

※【問い合わせ】が内線番号のみの場合は、市役所におかけください。

6

定期的に体を動かし健康維持

1月「健康づくり教室」

毎週行われる各種健康づくり教室は、インストラクター指導による、運動不足解消と楽しく体を動かすための教室です。教室の開催日にはトレーニングルームも利用することができます。参加初日に中仙市民会館窓口でチケットをお求めください。

◆対象／高校生以上

◆会場／中仙市民会館(ドンパル)C研修室・トレーニングルーム

【問い合わせ】

中仙保健センター 0187-56-7211 まで

リフレッシュ教室(火曜日開催)

日時／1月17・24日

時間／午後7時～8時30分

参加費／1,000円

ダイエット教室(水曜日開催)

日時／1月11・18・25日

時間／午後2時～3時30分

参加費／1,500円

健康運動教室(金曜日開催)

日時／1月6・13・20・27日

時間／午後7時～8時30分

参加費／2,000円

情熱あふれる演奏をご鑑賞ください

第18回大仙市大曲新人音楽祭コンクール

第18回大仙市大曲新人音楽祭コンクールが開催されます。今回の出場予定者は76人で、なかには、海外から応募された方もいます。新人音楽家の情熱あふれる演奏をぜひご鑑賞ください。

開催にあたり、昨年「弦・管・打楽器部門」で優秀賞を受賞した浜島まさみさんよりメッセージが届いていますのでご紹介します。

◆日時／【予選】1月7日(土)正午～

※「弦・管・打楽器部門」「ピアノ部門」は正午～、「声楽部門」は午後4時～

【本選】1月8日(日)午後0時30分～

◆会場／大曲市民会館
ホール、大曲中央公民館ホール

◆入場料／一般500円、
高校生以下300円
(全席自由両日券)

【問い合わせ】

大曲市民会館
0187-63-8766 まで

第17回大曲新人音楽祭コンクール
優秀賞受賞
浜島まさみさん
弦・管・打楽器部門(フルート)



5

登載申請書の提出をお願いします

農業委員会委員選挙人名簿

市の農業委員の選挙権を有する方は、毎年1月1日現在で「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の提出をお願いしています。

各世帯に「登載申請書」を郵送しますので内容を確認のうえ、押印して同封の返信用封筒でお送りください(1月10日まで必着)。

申請書を提出しなかった場合、選挙人名簿に登載されず投票ができません。必ず期限までに提出するようお願いします。

◆資格要件／平成18年1月1日現在で大仙市に住所があり、昭和61年4月1日以前に出生した方で10アール以上の農地につき耕作の業務を営む方、および同居の親族、またはその配偶者で年間60日以上耕作に従事した方

※申請書が届かなかった世帯で、上記の要件を満たしている場合は選挙権があります。申請書をお送りしますので各農業委員会事務局までご連絡ください。

◆申請期限／1月10日(火)

【問い合わせ・申請】

東部農業委員会 0187-63-8970 まで

西部農業委員会 0187-75-2962 まで

「大曲新人音楽祭コンクールに参加して」

私は大曲新人音楽祭に初めて参加をしました。日ごろ自分で曲を練習していてもそれを発表する機会というのが限られているところこの音楽祭に参加した事は私にとって得ることの多いとても貴重な経験でした。

本選の会場である大曲市民会館はとても響きが良いホールで、吹いていてとても気持ちがよかった事を思い出します。このコンクールに向けて自分自身が目標を持って練習できたことはとても良かったですし、受ける前と後では明らかに自分の演奏に対する見方が変わった事も確かです。まだまだ学ぶべき事は多いなど。

現在、陸上自衛隊東部方面音楽隊に勤務しておりますが、この経験を生かし、これからもよりよい演奏を目指し頑張っていきたいと思っています。

浜島まさみ

食育

国民一人一人が自らの食の在り方を見つめ直し、食について考
える習慣を身につけ、生涯を通じて健全な食生活を実現すること
ができる能力を身につけるための取り組みのことをいう。

具体的には、食品の安全性、食事と疾病との関係、食品に含ま
れる栄養素の働き、食文化、地域固有の食材、農林水産業や食品
産業などに関する情報提供や地域での実践活動を行うことを指す。

（政府広報「時の流れ」平成17年5月号から抜粋）

心身の健康、いきいきと暮らすためには

単に望ましい食習慣を身につけるだけでなく、家庭、学校、地域など、あらゆる分野で展開しなければならない

「食」は人間が生きていく上での基本的な営みの一つであり、健康な生活を送るためには健全な食生活は欠かせない。

好きなときに、好きなものを食べる、ことができる現代の飽食「日本」。しかしその一方で、栄養バランスの乱れや、家族がちがう時間に一人一人食事をする、いわゆる孤食などによる食品の偏りから、肥満などの生活習慣病が若い世代にも広まりつつある。また、「やせたい」という願ひからの拒食症、食物アレルギー、食の安全、食糧の自給率の低さなど新たな問題が生じている。

自分の健康を守る食生活を送るためには、食に関する知識と食を選択する能力の習得など、さまざまな観点からの「食育」が大切だ。

「日本型食生活」の変化

わが国の食生活は、伝統的に主食であるご飯を中心に、魚や野菜、大豆から作る豆腐や納豆などの副食を中心とするものだった。

第2次大戦後、経済成長を含むわが国の社会情勢の変化を背景に畜産物や油脂などの摂取が増加し、昭和50年

ろには、カロリー摂取量がほぼ満足すべき基準に達した。タンパク質、脂肪、炭水化物のエネルギー比率のバランスがとれているなど、いわゆる「日本型食生活」ともいえるべき理想的な食生活を達成してきた。

しかし、その後も脂質の消費が引き続き増加したことに加え、米の消費が減少し続けたことにより、脂質のとりすぎと炭水化物の摂取量の減少が顕著になっていくほか、不規則な食事の形態に代表されるような食生活の乱れが生じている。（下図参照）

このような偏った食生活も影響し、肥満や糖尿病等が若い世代の人たちに及ぶようになり、以前は「成人病」と呼んでいた心臓病、脳卒中、がんといった三大疾病を、「生活習慣病」と言い替える事態となった。

生活習慣を改めるためには、食生活の改善を図ることが重要な部分を占め、大切なことである。

「食育」は社会全体の問題

食を大切にする心の欠如、肥満や生活習慣病の増加など、「食」をめぐるさ

さまざまな問題の顕著化を受け、平成17年7月15日、「食育基本法」が施行された。食育は個人の問題ではなく、国全体の問題と認識し、国民運動として強力に推進するための法律だ。

基本法では、一人一人の食生活を見つめ直し、家庭、学校、保育所、地域など、あらゆる分野における食育活動に参加、協力することが期待されている。

いろんな分野を包括する「食」

「食育」は食習慣の改善だけではなく、昨今のBSE（牛海綿状脳症）や食品の表示といった問題に端を発した食の安全・安心、40%という低い食糧自給率、食文化や地域の伝統料理、地域で採れる農産物を食材として利用する地産地消、世界の食糧の現状や食糧廃棄による環境問題など、非常に幅広い内容を含んでいる。

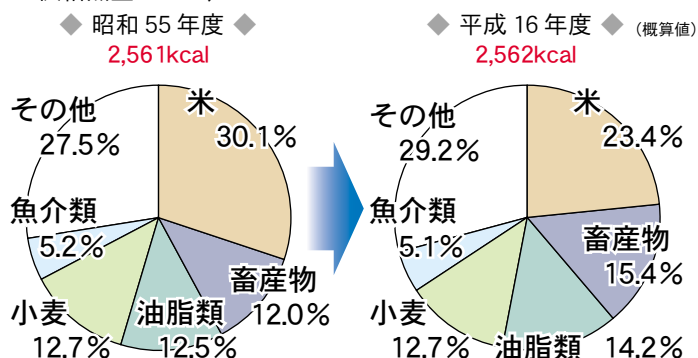
市では12月に、今後の食育の拠点となる施設「大曲南外学校給食センター」（仮称）の建設に着手した。

この新施設を紹介し、大仙市の学校教育において「食育」に取り組みさまざまな「挑戦」にスポットを当てた。

○食料消費割合の変化（1人1日当たり：供給熱量ベース）

ライフスタイルの変化により、従来の米を中心とした食事が減り、若い世代を中心に肉や油脂類を食べる量が増えてきた。昭和50年代中ごろの摂取する栄養素の熱量バランスがほぼ適切で、主食である米を中心に水産物、畜産物、野菜等、多様な副食品から構成される「日本型食生活」が形成された。しかし、近年の食生活においては、米の消費量の減少と畜産物、油脂類の消費が続き、栄養バランスの崩れがみられる。

資料 / 農林水産省「食料需給表」





ふるさとの味にふれてみよう だまこ汁を作ろう

刈和野小学校（西仙北地域）

「おいしー」

「自分たちで収穫したものね」

「体が温まるね」

「愛情いっぱいだもんね」

子どもたちのはしゃぎ声がランチルームに響く。

12月11日（日）、西仙北地域の刈和野小学校（廣川潔校長・児童数236人）で学校参観が行われた。

5年生43人は、「ふるさとの味にふれてみよう」と題して、親子でだまこ汁を作った。

一年かけて米づくりを学習してきた5年生。児童の祖父で農業を営んでいる本間福治さんの協力を得ながら、5月に代かき、そして田植えを行った。夏場に水稻栽培について学習しながら、9月には稲刈りを行った。収量は70kgと上々だ。

子どもたちが手塩にかけて育てた、あきたこまちで作っただまこ汁をみんなで食べることを楽しみにしていた。

いざ、だまこづくり

すり鉢にすりこぎ。初めて手にする子どもたちが多かった。ご飯をすりこぎで半づきにつぶしモチ状にするが、ご飯をつぶすという作業がはじめてという子どもたちにとっては、力の入れ方など加減が分からない。また、つぶした米を一口大の団子状に丸める作業でも、なかなかうまく形が整えられずに悪戦苦闘。親がすり鉢を押さえたり、「手に薄い塩水をつけて手早く」など適切なアドバイスを与えながら、親子で秋田の郷土料理に挑戦した。

「家では米をとぐなど、結構お手伝いしてくれますよ」と話す親がいるかと思えば、「高学年になれば部活動もあつて帰宅時間が遅くなったり、共働きのので子どもたちとなかなか時間をあわせづらく、共通の時間を持ちにくい」など、「食」の環境は家庭によって事情が違ふようである。

親子で一緒に地域の食文化や農産物

について学べたことは大変貴重な時間であり、大切な経験だった。

食はコミュニケーション

ゴボウ、鶏肉、糸コンニャク、マイタケ、ネギ、セリが入っただまこ汁。この季節、体が芯から温まる。

自分たちが育て、収穫した米は、それだけで格別である。それに仲間との会話や笑顔、そして保護者の愛情というダシが効いている。こどもたちの味覚はどのように刺激されたのだろうか。忘れない味の一つに数えられるのではないだろうか。

保護者からは、「米離れと言われ、準備したごはんが余るのではと心配しましたが、完食でした。よっぽどおいしかったんですね」「子どもたちはもちろん、親子の楽しそうな表情が印象的でした」「食を通じて子どもとふれあうことができたし。食がコミュニケーションの道具になることを実感しました」といったうれしい声が聞かれた。



自分たちが育てた米で作っただまこ汁は格別。食事中には、一年間取り組んできた米作りの様子がスライドで紹介され、仲間と親とそのときを思い出しながら、楽しい時間を過ごした。



悪戦苦闘しながらだまこ汁に挑戦。親がすり鉢を押さえたり（写真上）、
親のアドバイスを聞きながら団子状に丸めた。（写真下）
会場は終始親子の笑い声に包まれた。



「食育」活動の架け橋になりたい

西仙北学校給食センター主任学校栄養士

原 範 子 さん



大仙市には小学校31校、中学校12校があり、7503人の児童生徒（平成17年4月1日現在）が毎日給食を食べている。そして各地域には学校給食センターがあり、10人の学校栄養士が働いている。学校栄養士の仕事には、大きく分けて2つの仕事がある。まず、一つ目は、献立に関する仕事で、献立作成や調理員への指導、事務処理である。もう一つは食教育。食育と言われているもので、食に関する指導を行っている。

「食」について
興味を持ってもらう

西仙北学校給食センターの原範子・主任学校栄養士は昭和47年から学校栄養士として給食センターに勤務、3年前から現在のセンターに配属になった。それぞれの栄養士が知恵をしばって献立を考え、食に関する指導を行っている中、原さんの特色ある活動として、「味旅行」「一口メモ」「食をともしながらの食指導」などがあげられる。「味旅行」とは、月1回ぐらいのペースで献立に加えられる企画給食で、20年以上続い

ている。テーマが日本であったり海外であったりと、その都度違い、原さんがその国やメニュー内容を説明し、給食をとおして子どもたちをいろんな旅に連れ出してくれる。

「テーマを決め献立を考える作業は大変ですが、給食から子どもたちが新たな発見をし、目を輝かせる姿を見るとうれしくなり苦労も忘れ、次の企画への意欲に変わります」

その日でないと分からないシークレットメニューは、子どもたちの食への興味をそそり、楽しい献立の一つだ。

「この企画で子どもたちが世界に目を向け、食文化を知ることはもちろん、あらためて和食の良さやふるさとを見直す機会になればと思っています。献立メニューもバラエティに富んだものになり、より食に関心を持ってもらえればと思います」とねらいを話

す。「一口メモ」は毎月発行する献立とは別に、毎日のメニューに原さんからのメッセージが添えられ給食時に紹介される。給食前に子どもたちがみんなの前で読み上げる

場合もあるし、給食時の校内放送で流される場合もある。300字程度と短い文章だが、原さんの子どもたちへの愛情が満ちあふれ、調理方法、栄養価、食文化、食事のマナー、食の安全など多岐にわたった内容になっている。

最後に、原さんはできるだけ多くの学校を訪れて、子どもたちの反応を見ながら一緒に給食を食べるように努めている。

「子どもの反応を確かめることはとても重要なことで、献立作成のヒントにもつながります。また、これからの食教育には個に応じた指導の必要性を感じているので、食事をともにすることで個別にも指導することが可能になります。何よりも私自身が子ども

たちから仕事への活力をいただいています」

栄養士の使命と責任

「望ましい食生活を学び、自らの健康を保持増進する能力を給食という教材から学び取ってもらいたい」

学校給食をとおして、郷土愛や感謝の気持ち、思いやりの気持ち、社交性など、人生に必要なさまざまなものをはぐくむものへと昇華させてもらいたいと話す。

「自己管理能力を身に付けることは、将来の生きる力につながると思います。そのためにも学校、家庭、地域が一体となって食について考えられるような環境に努めたい」と栄養士としての使命に燃える。



毎日の給食の調理では、調理員にメニューの指示を行う。



特別非常勤講師として、授業する原さん。
 (写真上 / 刈和野小学校での授業)
 子どもの中に飛び込んでの指導を心掛けている。
 (写真下 / 双葉小学校での給食の時間)



子どもたちをいろんな旅に連れ出してくれる企画給食。中国への味旅行のメニュー。

「子どもを育てるスキ」

双葉小学校(西仙北地域)

11月2日(水)、大曲仙北保健安全研究大会が西仙北地域の双葉小学校(小松道典校長・児童数77人)で開催された。

研究主題は「栄養のバランスを考えて食事のできる子どもの育成」。大曲仙北から80人の教諭が参加し、双葉小学校が平成16年度から2年間にわたり取り組んできた研究成果が発表された。

研究テーマは「食育」

平成16年4月、小原弘先生が赴任した年に双葉小学校は、大曲仙北保健安全研究会の研究推進校に指定された。赴任したばかりの小原先生は以前から保健安全研究会のメンバーであり、同校の研究発表の担当になった。



小原 弘^{ひろむ} 教務主任
(4年生担任)

研究テーマの選定については、全職員で検討した結果、給食時の偏食や食べ残しが多く、野菜不足の児童が目立つことと、学校で指導できる身近なテーマということで「栄養のバランスを考えて食事のできる子どもの育成」に決めた。

3 レンジャー登場

食をテーマにした集会活動、給食時における児童への声かけ指導、野菜について関心を持ち、野菜嫌いを減らすための野菜カルタや野菜クイズ、外部講師を招いての授業など、教科や学年の別なく全職員による全校児童を対象とした取り組みが始まった。中でも、平成17年2月に登場した「3 レンジャー」は、3

つの主な食品群を赤・緑・黄に色分けして、その働きや必要性についての理解に役買った。子どもたちは楽しく、そして分かりやすく、食べることの大切さや食事バランスの重要性を学ぶことができた。

肉や魚などのタンパク質を含む食品は体をつくる「赤レンジャー」。野菜などの体の調子を整える食品は「緑レンジャー」。ごはんやパンなどの炭水化物でエネルギーを生みだす食品は「黄レンジャー」と名付けられた。この3つの食品群の働きやバランスを寸劇にし、全校集会で発表した。子どもたちがユーモアたっぷりに演じることができ、理解を深めることができた。



「バランスよく食べよう」
「3 レンジャー」登場。(写真右)
食生活に関するクイズで知識を深めた。(写真左)





「栄養のバランスで食事の」



伊藤志和子
養護教諭



野菜が不足するとこんな病気に。
(写真右)
栄養チェックカードは色によって食事バランスを知ることができる。(写真左)



また、小松校長のアドバイスで同時期から「栄養チェックカード」の記入を毎日行うようになった。

カードには、1週間の給食献立がイラストで描かれ、子どもたちは、毎日給食を食べ終わると、すぐに何色の食品をどれぐらい食べたのか色を塗る。自分が食べた量が赤・緑・黄色の面積で表され、食事バランスを客観的に知ることがができる。

先生から一言コメントが書かれたカードは週末家庭に渡され、保護者が一言コメントを書いて学校に返す。学校と家庭で子どもの食事バランスについて共通認識をもって、家庭でも食に関して興味関心を示し、バランスある食事に心がける家庭も多くなった。

毎回カードを担当したのは、養護教諭の伊藤志和子先生。学校給食センターの栄養士と連携しながら、送られてくる献立をもとにイラストを描き続けた。

「残さないでバランスよく食べてほしい。少しずつでもいいから、好き嫌いをなく食べてほしい」

そんな願いを込めながら作った。

地道な積み重ねが大切

2年間にわたる指導の結果、双葉小学校の子どもたちの食への理解は深まり、バランスのよい食生活を送ろうとする意欲は高まった。

その結果は、おかずの残菜量、いわゆる食べ残して廃棄される量からも分かる。取り

組み以前の約6割にまで残菜量を減らすことができた。

食の好みや食習慣をつくり、食習慣が将来の健康を左右するとして、食習慣は子どもの将来や幸福に影響を及ぼすことになる。

学校では、まだまだ苦手なものが食べられず給食をバランスよく食べられない子どもや、給食は残さず食べるが家庭で好き嫌いをする子どももいることから、今後とも指導を続け、自ら栄養バランスを考えて食べる子どもを育てたいとしている。そして、自ら食について考えられるようになった子どもが成長し親になったときには、自分の子どもたちに同じように食の大切さを伝えてくれることを期待している。

「私たちは難しいことに取り組んできたわけではありませんが、地道な活動を続けてきただけです。給食時の全職員による声かけ指導や食に関するいろいろな取り組み、それに応えてバランスよく食べようとする子どもたちの努力の成果です」と小原先生は双葉小学校の子どもたちを誇らしげに話してくれた。

◇基本コンセプト

1. 安全・安心な給食を提供できる施設

- ・ HACCP^{ハサップ}の概念に基づいた衛生区分の確立

2. 食教育の拠点となる施設

- ・ 食教育に貢献できる空間

3. 環境に配慮した施設

- ・ リサイクルシステムの確立



12月8日(木)、新しい学校給食センター新築工事の安全祈願祭が行われた。

学校給食センターは、大曲インターチェンジにほど近い県立農業科学館に向かい合う、内小友中沢工場団地内に建設される。名称は仮称であるが「大曲南外学校給食センター」。

建築から30年以上を経過し、老朽化した大曲、南外の両学校給食センターを一つの施設に統合し、大曲・南外両地域の小・中学校14校に1日約4000食を供給する。

3つの基本コンセプト

敷地面積9158㎡、鉄骨造り2階建てで延べ床面積は2475㎡。1階は調理場、2階には食堂兼会議室、調理実習室、見学廊下などが配置されている。

新施設建設にあたっての基本コンセプトは次の3つ

①安全・安心

②食教育の拠点

③環境に配慮

安全・安心に関しては、1960年代のアメリカのアポロ計画で、宇宙食の安全性を高度に保証するシステムとし

平成18年度**完成**予定

(仮称)大曲南外学校給食センター



◇施設概要

敷地面積／9,158 m²
 延べ面積／2,475 m²
 構造／鉄骨造り
 (任意準耐火)
 階数／2階建て
 駐車台数／40台

て考案された、製造過程管理の手法である HACCP の概念に対応したシステムを導入している。調理台や床などは常に乾いた状態のドライシステム、温度・湿度管理システムなどにより細菌の繁殖を抑えて安全・安心な給食の提供に努める。

次に、食教育の拠点に関しては、1階の調理作業を見わたすことができる見学・学習スペースを充実し、展示や調理実習、研修等を通じて食について体験・学習ができる。最後に環境への配慮については、調理で排出される生ごみや食べ残しは焼却処分するのではなく、施設内で再資源化し、積極的にリサイクルに取り組む。

完成は平成18年度予定で、平成19年4月から本格稼働が始まる。

安全・安心で 楽しい給食を



大曲学校給食センター
主任学校栄養士
小山 真紀子 さん

大 曲と南外の小中学校14校、3949食を一日で作ることになります。

大量の食材を取り扱うことになるので、今まで以上に安全・安心な給食作りをしたいと思っています。

新施設は作業する部屋ごとに区切られ、衛生区画が明確になっているため、衛生的な作業が可能になります。床がぬれていないドライ方式のため、細菌

が繁殖しにくく、空調設備も整うため、温度や湿度の面でも快適な作業環境となります。

食材は、生産者の顔が見えやすい地場産の食材の品目や数量を増やせるように、生産者やJAの方々にご協力を願い、将来を担う子どもたちの成長のお手伝いをしていただければと期待しています。食材一つからでも食育に関わることができるようになりたいと思います。

安全・安心な給食は作り手である調理員がしっかりした意識を持ち、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら働くことが必要です。学習体験研修施設も備わっていますので、親子料理教室や試食会、調理員の講習会を行い、大仙市の食育拠点センター的な役割を果たせるようにと夢は広がります。

安全・安心で楽しい給食づくりを目指します。

新施設への 期待 EXPECTATION

小 ・中学生の時期は食習慣や食事に対する考え方が確立される大切な時期です。

食育が注目される今、学校給食は食を学ぶ教材としての役割が必要とされています。

年間計画の中で献立の内容やねらい、料理の工夫などを今まで以上に子どもたちに伝えていく必要性を感じてい

ます。

新施設は、調理作業を見渡せる見学コーナーがあるので作り手の顔が見え、子どもたちとの交流ができるのではないかと期待しています。

また、地場産食材の利用や食文化の伝承、食の科学、食の生産と流通消費など、食についてあらゆる分野の理解を

深め、学ぶことができる施設になっていきます。

南外地域の子どもたちは、給食についての前向きな意見や感想が多く、はげまされ、勇気づけられます。

そんな明るく好意的な子どもたちの期待に応えられる給食にしていきたいと思います。

南外学校給食センター
主任学校栄養士
千葉 嘉津子 さん

明るく元気な 子どもたちの 期待に応えたい



思い

新

学校給食センター

全般的に見て、今の子どもたちは料理をしなくなったと思います。
その結果でしょうか、包丁を使えない子どもたちが結構いるんですよ…。

このまちの自然環境や家族構成によるものなのでしょうかね。大仙の子どもたちは都会の子どもと違って、ちよつとアドバンスすれば料理道具を使えるようになるんです。

都会の子どもたちに比べて、たくましいというか、生きる力に満ちあふれているというか、収録を通じてそんな印象を大仙の子どもたちから受けました。

昨年7月、NHK教育テレビの幼児向け人気料理番組「ひとりでもクッキング」の収録が当市で行われた。人気キャラクター「みいる」と「エダモン」が大仙市と大曲地域・内小友地区の子どもたちが考えた創作料理を紹介してくれた。収録に訪れた「エダモン」に撮影の合間、大仙市の子どもたちの印象などについて伺った。



人気キャラクター「みいる」と「エダモン」(写真右)。

家庭や地域に
広がる食育を



大仙市教育委員会
笹元 嘉辰 教育長

新施設への

希望

HOPE

生きる力
たくましさを備えた
大仙の子どもたち

食 味は脳の記憶として定着されるそうです。それは母の作った料理が根源になると言われます。食には愛情が結びつくということです。また、食味は8歳から12歳までの食習慣で決まるとも言われています。

ます。新しい施設での思いやりある給食が、子どもたち一人一人に提供されることを、何よりも強く期待します。

新施設は、学習や見学スペースを充実させ、郷土料理や食文化、地産地消についても学ぶことのできる、地域に開かれた食育センターとして計画しました。単に給食を作るだけの

施設ではないということです。食育は、健康教育は言うに及ばず、心の教育、環境教育、国際理解教育など、あらゆる分野につながっていきます。このことを学校はもちろん、家庭、地域でもしっかりと伝えていただきたいながら、この施設を拠点として食育を展開できればと思っています。

バランスよくたべよう

まとめ

健康について考えたことがありますか
正しい食習慣を身に付けていますか
食について考えてみませんか

双葉小学校の給食室の壁には「バランスよくたべよう」の文字が掲げられている。

子どもが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けるためには、何よりも「食」が大切である。知育、徳育、体育、その基礎となるべきものとして「食育」は位置づけられる。

もともと、「食育」は子どもたちだけに必要なわけではなく、あらゆる世代に必要なことであるが、特に子どもたちへの「食育」は心身の成長や人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と体を培い、豊かな人間性をはぐくむ基礎となる。

12月に着工した大曲・南外地域の学校給食センター。新施設の安全祈願祭において、栗林市長は「ただ単に給食を作る施設ではありません。この地域の食教育を実践できる拠点施設となるよう準備してきました。学校はもとより家庭や地域で食について考えていただきたい」とあいさつ。大仙市としても「食育」について本格的に取り組んでいきたいとしている。

また、「食育」にはわが地域の活性化につながるヒントが秘められている。BSE（牛海綿状脳症）の発生を契機にした食への安全・安心に対する関心の高まりや食糧自給率の向上、地産地消の取り組みなど、「食育」における農山村の果たす役割は重要だ。

農業県である秋田。その中でも肥沃な穀倉地帯を形成し、「安全、信頼の食糧基地」を掲げるわがまち大仙市。私たちが所有する有形・無形の財産を上手に活用しながら、これからの農業のあり方、産業のあり方、まちのあり方などを考えることができる。

今回の取材で子どもたちと給食をともにする時間を持つことができた。全校児童で食べる給食、学年を超えた班編成による縦割りグループでの給食など、給食のスタイルは時代に合わせて若干違ってきているものの、仲間と語らいながら食べる楽しいひとときは変わらない。

「食育」には幅広い内容を含むが、家庭、学校、そして地域で今日から笑顔で取り組もう。

なぜなら「食」は楽しいものだから。

笑顔 てんこ盛り

「食」は楽しい！



どんな食事をすると
健康で元気に
成長するのかな？

今、栄養バランスのよい
ことが大切です。

1. おもに熱や力のもとになるはたらき
2. おもに体をつくるはたらき
3. おもに体の調子を整えるはたらき

毎日たくさんの食品がとれていま
食のない日はどうでしょうか。



説明会は予定時間を30分延長して行われました。

県と市のプロジェクトチームが説明 真木ダム代替案(素案)住民説明会

12月11日(日)、県と市のプロジェクトチームで進めている真木ダム代替案(素案)の住民説明会が、仙北ふれあい文化センターで行われ、チームメンバー46人と地域住民61人が参加しました。

同チームからは、「斉内川の治水対策を当面20年に1回程度起こると想定される洪水(確立20分の1)に対応できる安全度を確保する河川改修を早期に行うこと」「将来的にはダム計画の安全度の確立50分の1に対応できるよう、遊水地か放水路を整備する」「水道水源は玉川単独か、玉川と地下水の組み合わせのどちらかとする」などの素案が示されました。

質疑応答を含めた説明会は予定時間を30分延長して行われ、地域住民のみなさんからは、「将来を見通した計画にしてほしい」「水道料の値上げなど、住民に負担がはね返らないようにしてほしい」「斉内川上流に貯水池を設け、斉内川の水量不足を解消したら」といった意見などが出されました。

同チームでは、今回の意見の検討などを行い、2月1日(水)開催予定の第4回チーム会議で、代替案をまとめる予定です。

スポ少活動の発展を 大仙市スポーツ少年団本部設立総会

12月11日(日)、大仙市スポーツ少年団本部の設立総会が行われました。

同本部は合併に伴い、旧市町村ごとのスポ少組織を一本化し、より適切な指導、育成体制を整えようと設立されました。

初代本部長には大曲支部の藤谷弘志さんが選任され、「8支部が連携して子どもたちの育成に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

大仙市のスポ少への加盟団体は18競技、101団体、団員約2,500人の県内第2番目の規模を誇ります。



新組織、新役員での活動が開始されます。

子どもたちには、県からベストが贈られました。



声を掛け合い 地域を守ろう 角間川小学校「安全・安心スクール」

12月8日(木)、大仙警察署と角間川小学校が同校で「安全・安心スクール」を開きました。この日は、5、6年生児童38人と地域のお年寄り約50人の方々が参加。スクールでは、児童たちがアドバイザー活動を行っていることが一目で分かるようにと、県から黄色いベストが贈られたほか、児童の作文発表など、世代間交流を深めながら地域の安全確保について考えました。

同校の5、6年生は、声掛け活動などを通じて高齢者が巻き込まれる事故や犯罪を防止する「安全安心アドバイザー」として大仙警察署から11月に委嘱されています。



南外中の佐々木俊宏生徒会長（写真左）と藤原教諭。



平和中の三浦教諭（写真右）と記念講演をいただいた、陸上男子棒高跳びの日本記録保持者の澤野大地選手。

中 南外中・平和中が優良賞 中学校体力づくりコンテストで入賞

「毎日カップ中学校体力づくりコンテスト」（毎日新聞社・毎日中学生新聞社主催）の表彰式が、12月4日（日）、東京都・毎日新聞本社内の毎日ホールで行われ、南外中学校（南外地域）と平和中学校（神岡地域）が優良賞を受賞しました。

このコンテストは、文部科学省の実施要綱に基づく新体力テストの記録から、「体力づくり」の実践を通して「たくましく生きる力」の育成に成果を上げている中学校を表彰するものです。

全国3,909校のエントリーの中、秋田県代表の両校は、授業や部活動など学校活動全般を通しての体力づくりが、子どもたちの体力の向上と健康の増進に効果を上げていると評価され、今回の受賞となりました。



百 お似合いの着物姿で祝福 歳おめでとう 高橋ヒデさん

12月12日（月）、10日に満百歳を迎えられた高橋ヒデさんを祝い、桜寿苑（中仙地域）で祝い金と祝い品の贈呈式が行われました。高橋さんには、県・市・桜寿苑からお祝いが贈られたほか、お孫さんからも大きな花束が贈られました。

おしゃれな高橋さんは、家族がこの日のために準備してくれた上品で華やかな着物姿で贈呈式に出席しました。「こんなに綺麗な着物を着てもいいんだべか」と心配していた高橋さん。家族の愛情たっぷりの着物を美しく着こなす穏やかな笑顔をうかべながら、たくさんのお祝いを受け取っていました。



高橋さん（写真下段中央）は、身の回りのことは自分で行うなど、元気に過ごしています。

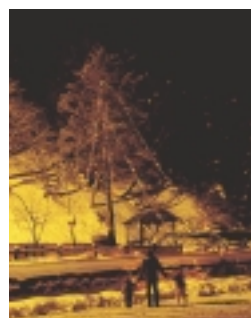
各 大沢郷の清水や丸子橋橋上公園など 地域でクリスマスイルミネーション

西仙北地域の大沢郷宿地区にあり、昔から枯渇することなく延命の水として言い伝えられている、雄清水・雌清水の農村公園にクリスマスイルミネーションが飾られました。（写真右）

雄清水を守る会（斎藤久会長・会員18人）が11月下旬から飾り付けたものです。

また、大曲地域の丸子橋橋上公園には、昨年に続き、大曲ライオンズクラブ（米沢谷雷三会長）が、橋の長さにあわせ71m、高さ6mのイルミネーションを飾りました。（写真下）

それぞれ訪れる方々を和ませ、楽しませてくれます。





「今年もありがとう」

カレンダーも新しくなり、新年をむかえた気分になります。

今年も大曲養護学校のみなさんの手づくりカレンダーをいただきました。

温もりと愛情いっぱいのカレンダー。市長室前にも掲示され、来庁者を和ませてくれます。

大切にに使わせていただきます。



あ・も・わ・ず **パチリ**

おおきなせなかにお便り広場

あて先はこちらまで——

〒014-8601 (住所不要)

大仙市企画部秘書広報課

手紙・ハガキ、またはEメール
(kouhou@city.daisen.akita.jp)で
ご応募ください。

12月10日に寄せられたお手紙から

広

報を毎回楽しみにしています。
大仙市になってから8地域の様子
を広報で知ることができます。

(南外地域・50歳女性)

編

集後記を拝見し、ホッとしました。
世の中、インターネットやメール
ができないと肩身の狭い思いをするの
ですが、私は時間のある限り友人知人
に手紙やはがきを出すことにしていま
す。

先日ものはがき絵を鹿児島島の恩師に送
りましたが、大変喜んでもらい、自己
満足しています。上手ではなくてもい
い、真心だよと言われました。

(大曲地域・69歳女性)

行

事予定は、大変役に立っています。
各地域の興味ある行事が一目で分
かるからです。

ちなみに太字で書かれてある行事
は、ぜひ行ってみたい気持ちになりま
した。

(大曲地域・70歳男性)

師

走に入り、白いものが落ちてくる
ようになってきました。行政にお
願いですが、除雪をもう少し丁寧
に行っていただけるとありがたいと思
います。

(大曲地域・50歳男性)

中

学1年生です!!
バスケットボール部で毎日頑張っ
ています。

(中仙地域・12歳女性)

時

代の違う方々の意見を読むことが
できるので、お便り広場が一番楽
しみます。

市民お勧めのスポット紹介コーナ
ーがあつたら楽しめそうです。

(大曲地域・37歳女性)

情

報交差点は大変助かりますので、
全部に目を通します。

情報交差点の文字が少々お堅い感
じがしますので、一工夫していただ
ければうれしいです。

(大曲地域・46歳女性)

最

近、小学生が被害に遭う痛ましい
事件が相次いでいます。人ごとで
ないような気がします。

今こそ地域住民が一体となって防犯
に立ち上がる時だと思います。

(協和地域・55歳男性)

文

字・写真をもう少し大きくお願
いしたいです。

情報交差点、広報見聞録楽しみに
しています。

(太田地域・47歳男性)

う

ずまき白菜を作って食べてみま
した。とてもおいしかったです。
次号も楽しみにしています。

(太田地域・20歳女性)

す

ばらしい出来栄で毎月2回の発
行を楽しみに読んでいます。

編集がすばらしく、広報マンの努力
に敬意を表します。

(中仙地域・65歳男性)

来

年の春、3人目を出産予定です。
大仙市の子育て支援が手厚いので

とても助かっていますが、子どもが被
害に遭う事件が多いこのごろ、子ども
たちを守る制度、支援が広がってく
ると良いと思います。そのときは、ぜ
ひ協力したいと思っています。

(太田地域・38歳女性)

他

市から引越して知らないまちの
ことが、広報のおかげで少しずつ
知るようになりました。まだまだ未知
の世界です。

(大曲地域・57歳女性)

今

年も残すところ1カ月になりました。
た。

来年こそは大仙市にとっても良い年
でありますように!!

(南外地域・51歳男性)

食材厨房 地場産

recipe.9
大曲地域



材料

- 【下漬け】
◎かぼ／1 kg ◎塩／30g ◎砂糖／50g
◎ミョウバン／1 g ◎食酢／30～50g
【本漬け】
◎砂糖／30g ◎塩／5 g ◎食酢／30g
◎だしこんぶ／30g ◎みりん／18g

作り方

- 【下漬け】
① かぼは、皮をむいて2～3mmの薄い輪切りにする。
② 下漬け容器に①の材料をずらして並べ、下漬けの材料を混ぜ合わせて、かぼにかける。そして、1日おいて次の日に本漬けをする。
【本漬け】
① 下漬けしたかぼをザルにあげ、水分を切る。
② 本漬けの容器にかぼを並べ、本漬けの材料を混ぜ合わせながらかけ、重しをのせて1・2日漬けて味をしみ込ませて完成。風味が落ちるので、1週間以内に食べる。

※ ご紹介した漬け物は、「大曲の千枚漬」として千枚漬加工グループが作り、大曲地域のスーパーマーケット・野菜直売所などで販売しています。

【問い合わせ】大曲総合支所農林振興課

0187-63-1111(内線231)まで

今回の料理の先生は
藤田 光さん
(大曲地域・四ツ屋)



新 市になった時、その広さにとまどいました。
でも、広報だいせんを見るようになってからは、大仙市が身近になり、なんだか前より狭くなったように思えます。
(仙北地域・女性58歳)

ク リスマス花火の記事を読みました。が、冬の花火は、きつときれいなんだろうなと思います。
今まで1度も冬の花火を見たことがないので、見てみたいです。
ムードたっぷりなんだろうな...。
(大曲地域・22歳女性)

食 材厨房参考に使っています。これから地場産を利用して作れる、おいしいメニューを期待しています。
(神岡地域・49歳女性)

先 日市役所から青い封筒が届いた。で「なんだろう」と思い恐る恐る封を開けたら、クイズの当選通知でした。
くじ運の悪い私ですので、夢かと思いました。本当にありがとうございます。
これからも楽しく広報を読ませていただきます。
(太田地域・82歳女性)

大 仙を歩こう!!を読みました。スキーをするので、市内にスキー場がいくつかあるのうれしいです。料金も詳しく書かれてあると、おかあさんに頼みやすいです。
(大曲地域・10歳女性)

中 仙市民会館ドンパルで孫のピアノ発表会があり行ってきました。広報の写真のとおりすばらしい施設でした。来年の孫のピアノ発表会を楽しみにしています。
(西仙北地域・58歳女性)

ちょっと一服

5人の方々に図書カード
1,000円分が当たる

広報クイズ
Kouhou Quiz

問題

双葉小学校の食育指導で子どもたちの理解に
一役買ったのは何レンジャーだったでしょう？

- ① 3 ② 5 ③ 7

応募方法

答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、広報誌の感想や市への質問などをお書きの上、秘書広報課までお送りください。また、ハガキ以外でもファックス(0187-63-1119)、Eメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)でご応募ください。

締切は 1月15日(消印有効)



大仙市の総除雪距離
約 1,808 km

除雪作業のスムーズ化

22台の除雪自動通報システム

降雪量が10cmを超える
とセンサーが感知

AM 1:00

各オペレーターの携帯
電話にメールで出勤命
令を発信

AM 2:00

一斉に除雪車が出動

AM 7:30

除雪終了

新システム導入でスムーズな除雪へ 安全な除雪作業にご協力ください

市では、冬期間の市民生活と産業経済活動の安定のため、安全で効率的な除雪を計画しています。市の総除雪距離は約1,808km。直営オペレーター70人と除雪車104台、委託業者87社で除雪作業を行います。

今冬から、降雪量が10cmを超えると自動的に出勤命令が発信される新システムを導入。出勤命令は除雪オペレーター(除雪車を運転する人)の携帯電話にメールで伝えられ、通勤・通学前の午前7時30分までには全ての除雪作業を終了する予定です。

道路パトロールも行い、吹きだまりや路面のわだち、路肩への堆雪など、交通障害を発見した場合は出動し、除雪を行います。

スムーズな除雪作業のため、みなさんのご協力をお願いします。

除雪に関する問い合わせ

大 曲	除雪ステーション	☎0187-68-2372
神 岡	神岡総合支所土木課	☎0187-72-4609
西仙北	西仙北総合支所土木課	☎0187-75-2971
中 仙	中仙総合支所土木課	☎0187-56-2116
協 和	除雪ステーション	☎018-892-3708
南 外	除雪ステーション	☎0187-74-2117
仙 北	除雪ステーション	☎0187-63-3003
太 田	太田総合支所土木課	☎0187-88-1116

【スムーズな除雪作業のためのお願い】

- ・深夜の路上駐車は絶対にやめてください。
- ・除雪作業中の除雪車には近づかないでください。
- ・雪を捨てるために開けた側溝のふたは、作業後必ず閉めてください。
- ・除雪作業により、敷地の出入り口に寄せられた雪は、各自で処理をお願いします。

介護保険事務所からのお知らせ

変わりました 高額介護サービス費

【問い合わせ・申請】

各総合支所市民課(大曲総合支所は本庁援護福祉課)

本庁援護福祉課高齢班 0187-63-1111(内線169)まで

介護保険事務所保険管理班 0187-86-3911まで

高額介護サービス費とは

介護保険サービスを利用した際の自己負担額は、一割ですが、ひと月に一定の額(自己負担上限額)を超えた場合、申請により、超えた分が「高額介護サービス費」として支給されます。(自己負担額には、施設での食費・居住費・日常生活費などは含まれません。)

給付の対象者には介護保険事務所からのお知らせと申請書を送付します。(平成17年10月利用分は12月にお知らせしています)

高額介護サービス費の変更点

申請には、支払った金額(一割負担額)が確認できる領収書が必要です。

同じ世帯で複数の方がサービスを利用した場合は、その合計が高額介護サービス費の対象となります。

介護保険制度の改正にともない、平成17年10月以降に利用したサービスから、自己負担上限額が右表のとおり変わりました。

高額介護サービス費の 自己負担上限額とその変更点

		自己負担上限額 (ひと月あたり)	
		9月まで	10月から
市町村民税課税世帯の方		37,200円	37,200円
非課税世帯 市町村民税	[合計所得金額+課税年金収入額] 合計が年額80万円を超える方	24,600円	24,600円
	[合計所得金額+課税年金収入額] 合計が年額80万円以下の方		15,000円
	老齢福祉年金を受給している方	15,000円	15,000円
生活保護を受けている方			

1月の

農業科学館

問い合わせ

秋田県立農業科学館

☎0187-68-2300まで(月曜休館)

※月曜が祝日の場合、火曜日が休館日になります
※11月から3月まで閉館時間が午後4時になります

企画展

■農山村風景写真展

期日／1月6日(金)から29日(日)まで

■春の洋ラン展

期日／1月6日(金)から2月12日(日)まで

■総合食品研究所紹介展

期日／1月24日(火)から3月21日(火)まで

おやこ自然教室

■炭で遊ぼう

対象／幼児、小・中学生とその保護者
(要同伴)

日時／1月14日(土)午前10時～正午

参加料／無料

定員／20人

※おやこ自然教室への参加申し込みは、開催日の1ヶ月前から電話(0187-68-2300)で受け付けます。



献血日程表

【問い合わせ】健康増進課 ☎0187-62-9301まで

期 日	時 間	会 場
4日(水) 全血	10:00～12:00	大曲仙北広域交流センター
	13:00～13:40	市立大曲病院
	14:00～14:50	大曲税務署
	15:00～16:00	大曲仙北広域消防本部
6日(金) 成分	10:00～12:00	市役所大曲庁舎
	13:00～16:00	大仙保健所
7日(土) 全血	10:00～16:00	ふれあい献血キャンペーン スーパードラッグアサヒ大曲店
12日(木) 全血	10:00～11:00	宮腰精機 刈和野工場
	11:10～12:00	東京クロージング秋田
	13:00～14:00	昭和コンクリート工業
	14:10～15:10	J A秋田おばこ強首出張所
	15:20～16:00	ふれあい献血キャンペーン ジャスコ中仙店
15日(日) 全血	10:00～16:00	ふれあい献血キャンペーン ジャスコ中仙店
18日(水) 成分	10:00～16:00	仙北就業改善センター
20日(金) 全血	10:00～11:50	協和総合支所
	12:20～13:00	エービーアイ
	14:30～16:00	県立リハビリセンター
24日(火) 全血	10:00～11:00	フロムワン秋田工場
	11:10～12:00	橋爪商事大曲支店
	13:00～13:50	コマツ秋田大曲支店
	14:00～14:50	東邦技術株式会社
	15:00～16:00	コムシス東北テクノ

※成分献血は採血終了まで1時間程かかるため、協力者をお待たせしないよう予約制をとっています。成分献血に協力いただける方は健康増進課(0187-62-9301)までお申し込みください。

2006 Happy New Year HANABI

■午前0時■大仙市内各地

第46回やまびこ元旦登山■午前4時45分JR大曲駅前集合

休日外科当番医：仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111

休日歯科当番医：おやしき歯科クリニック(大曲) ☎0187-65-2002

小児救急診療：仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

休日外科当番医：仙北組合総合病院・整形(大曲) ☎0187-63-2111

休日歯科当番医：金子歯科医院(大曲) ☎0187-63-7300

休日外科当番医：大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131

休日歯科当番医：田口歯科医院(大曲) ☎0187-63-7117

市役所仕事始め

市県民税第4期納期限

国民健康保険税第6期納期限

大仙市消防出初式

■午前9時～■大曲市民会館

第18回大仙市大曲新人音楽祭コンクール(予選)

■正午～■大曲市民会館ほか(一般500円・高校生以下300円) ※P7

第18回大仙市大曲新人音楽祭コンクール(本選)

■午後0時30分～■大曲市民会館(一般500円・高校生以下300円) ※P7

休日外科当番医：仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111

休日歯科当番医：船木歯科医院(大曲) ☎0187-63-0027

小児救急診療：仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

休日外科当番医：大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131

休日歯科当番医：ホワイト歯科医院(大曲) ☎0187-86-3180

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書申請期限 ※P7

大曲市民会館事業「森山直太郎コンサート」一日限定チケット予約日

■午前9時～■予約専用電話番号まで ※P6

休日外科当番医：大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131

休日歯科当番医：佐藤歯科医院(大曲) ☎0187-63-0308

小児救急診療：仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

まちづくり県民フォーラム ■午後1時30分～■秋田県庁第2庁舎 ※P28

女性相談 ■午前10時～■仙北地域振興局 ※P28

法律相談 ■午後1時30分～■仙北地域振興局 ※P28

堀内恒夫「私の野球人生」

■午後6時30分～■太田文化プラザ(無料・要入場整理券) ※P6

休祭日救急医療センター(大曲保健センター内)

■内科・小児科 ■午前10時～午後4時

☎0187-62-1015

秋田わか杉国体 大仙市オリジナルキャッチコピーが決定

秋田わか杉国体(平成 19 年開催)を盛り上げようと、市が募集していたオリジナルキャッチコピー(応募総数 53 作品)の優秀作品が決定しました。これらの作品は、今後、秋田わか杉国体大仙市シンボルコピーとして、さまざまな場面で登場します。

【特選】ドキドキ 大仙 大熱戦

【入選】輝ける 君の舞台を 今ここに！！

あきらめない それが私の 勝利への道
君の思いと夢をのせ大仙風を巻きおこせ

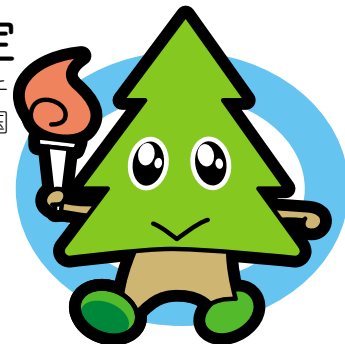
伊藤 由加 さん (協和中学校教諭)

伊藤 美里 さん (西仙北東中 1 年)

佐藤 彩加 さん (協和中 2 年)

和田 一真 さん (協和中 2 年)

【問い合わせ】国体準備事務局 0187-63-1111(内線 319)まで



お知らせ Information

ひとりで悩まず、すぐ相談 女性相談・法律相談

夫婦・金銭・財産に関する悩みなどの相談に応じます。秘密は厳守しますのでお気軽にご相談ください。相談には申し込みが必要です。

◆期日／1 月 18 日(水)

◆時間／【女性相談】午前 10 時～午後 3 時【法律相談】午後 1 時 30 分～3 時 30 分

◆会場／仙北地域振興局

【問い合わせ・申し込み】

秋田県女性相談所

018-835-9052 まで

海で働くプロを育てます 国立宮古海上技術学校

海上技術学校では、3 年間の船員教育を受ける学生を募集します。詳しい内容についてはホームページ(<http://www.rnac.ne.jp/~miyakai>)または、電話でお問い合わせください。

◆受験資格／①平成 18 年 4 月 1 日現在で満 15 歳以上の方

②中学校または中等教育学校の前期課程を卒業した方(卒業見込みを含む)

◆試験日／【推薦入試】1 月 26 日(木)【一般入試】2 月 12 日(日)

◆申込受付期間／【推薦入試】1 月 6 日(金)から 23 日(月)まで

【一般入試】1 月 6 日(金)から 2 月 7 日(火)まで

【問い合わせ・申し込み】

国立宮古海上技術学校

0193-62-5316 まで



海上で働くための技術を身につけます。

お気軽に相談ください 相続や土地家屋の無料相談

相談には申し込みが必要です。

◆日時／1 月 27 日(金)午前 10 時～午後 3 時

◆会場／社会福祉協議会(大曲地域笑の口市営住宅 1 階)

【問い合わせ・申し込み】

大仙市社会福祉協議会

0187-63-0277 まで

交通事故でお困りの方は 交通事故無料相談

交通事故の保険の請求がよくわからない、加害者になって困ったなど、交通事故でお悩みの方はご相談ください。専門の相談員が電話で相談に応じます(面談による相談も可)。毎月第 2・4 木曜日には弁護士による相談(要申し込み)も行っています。

◆日時／月曜日から金曜日までの午前 9 時～午後 5 時(祝日を除く)

【問い合わせ・申し込み】

秋田自動車保険請求センター

018-823-5922 まで

連携と協働によるまちづくり まちづくり県民フォーラム

市民主体のまちづくりを考え、私たちが「まち」に対し何を行えるのかを話し合うフォーラムです。

◆日時／1 月 17 日(火)午後 1 時 30 分～5 時

◆会場／秋田県庁第 2 庁舎

◆参加費／無料

◆定員／先着 280 人

【問い合わせ・申し込み】

秋田県建築住宅課

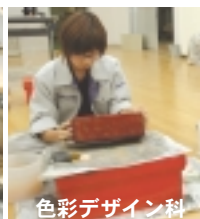
018-860-2566 まで

地域で一丸となって育成 冬の青少年健全育成運動

1 月 15 日(日)までは「冬の青少年健全育成運動」期間です。年末年始は学校や職場が休業期間となり、気のゆるみから青少年が飲酒・喫煙などに手を出すきっかけとなります。家庭で語り合う時間を多く持ち、積極的にあいさつなどを交わすなど、家庭と地域が一丸となった青少年の健全育成にご協力ください。



機械システム科



色彩デザイン科



建設施行科



電気システム科

未来の匠を育てます 大曲技術専門校各種高卒コース(再募集)

各種高卒コース(2 年制)の再募集を行います。専門的な技術の習得と資格取得で未来の技術者を目指しませんか。

JR 大曲駅から徒歩 15 分、駐車場も完備しています。

応募資格／高等学校卒業業者(卒業見込みを含む)

募集科目／機械システム、色彩デザイン、建築施行、電気システム

定員／各科 7 人程度

申込受付期限／1 月 27 日(金)

【問い合わせ】大曲技術専門校(大曲川原町) 0187-62-2457 まで

情報交差点

イベント Events

個性あふれる絵画を展示 第2回ブランカ作品展「花」

11月に募集した作品(応募数20点)を展示しています。お気軽にお越しください。

◆期間／1月17日(火)までの午前9時30分～午後7時30分(17日は午後4時30分まで)

※日曜日、祝日は午前9時30分～午後6時30分

◆会場／ブランカ(大曲中通町)

◆休業日／12月29日(木)から平成18年1月3日(火)まで

【問い合わせ】

ブランカ

0187-62-0558 まで



ゆっくり絵画を鑑賞することができます。

絵画の持つメッセージ 「絵画が語る時代と人」展

作品に関するエピソードを社会の動きに重ね紹介する展覧会です。

◆期間／2月5日(日)までの午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◆会場／県立近代美術館(横手市)

◆入場料／一般400円、学生300円、小・中学生200円

【問い合わせ】

秋田県立近代美術館

0182-33-8855 まで



郷土の自然を守ろうというメッセージを込めた福田豊四郎の作品「冬漁」(1941年)

募集 Invitation

出場者を募集しています 健康だすか！フェスティバル

ステージイベントに参加してくれる団体(5人以上)を募集します。

5分以内のイベントであれば、年齢・地域・ジャンルは問いません。たくさんの参加をお待ちしています。

◆開催日／2月26日(日)

◆会場／わらび劇場(仙北市たざわこ芸術村)

◆参加費／一人500円(子どもは無料)

◆申込受付期限／1月10日(火)

【問い合わせ・申し込み】

健康だすかフェスティバル

実行委員会事務局

0187-44-2500 まで

国内・海外で国際性を養う 春休み国際交流事業

春休みに言語や習慣を超えた国際交流をしてみませんか。詳しい内容についてはホームページ(<http://www.kskk.or.jp>)か電話で問い合わせください。

【海外】春休み海外派遣事業

事業先(5事業)により、期間・参加費が異なります。

対象／小学校3年生から高校3年生

期間／3月25日(土)から4月6日(木)まで(事業によっては5日まで)

参加費／298,000円～350,000円

申込受付期限／2月3日(金)

【国内】ちびっこ探検学校ヨロシ島

対象／小学校2年生から6年生

期間／3月28日(火)から4月4日(火)まで

参加費／136,000円(秋田発)

申込受付期限／3月7日(火)

【問い合わせ・資料請求・申し込み】

国際青少年研修協会

03-3359-8421 まで

講習 Course

英語を学び国際交流 英会話サークル

カナダ出身のレナト先生の簡単な英会話サークルです。ハロウィンなどのイベントをとおして、外国語指導助手の先生と国際交流も行っています。みなさんも参加してみませんか。

◆日時／毎週水曜日午後7時30分～

◆会場／仙北ふれあい文化センター

◆参加費／月額2,000円

【問い合わせ・申し込み】

英会話サークル 熊谷さん

0187-69-2186 まで



あなたも英語を学んでみませんか。

あなたの体は健康ですか 健康づくりセミナー

ストレス解消と健康的なダイエットがテーマの健康づくりセミナーを行います。終了後、希望者は歯科検診も受診できます。

◆日時／1月22日(日)午前9時45分～午後1時30分

◆会場／ペアーレ大曲(大曲中通町)

◆参加費／1,000円(昼食代込み)

講演

「心が疲れたときの対処法」

講師／秋田大学医学部・佐々木久長先生

健康運動指導士による運動の実践

多目的ホール、または温水プールでエクササイズを予定しています。

栄養士による栄養指導

ヘルシー弁当を食べながら食生活指導

【問い合わせ・申し込み】

ペアーレ大曲

0187-63-8600 まで

みんなでまもろう 地域の宝

第52回 文化財防火デー

昭和24年1月26日、日本最古の壁画が描かれた奈良県法隆寺金堂が焼損しました。

このことから消防庁と文化庁では、昭和30年から毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災や震災から保護する文化財保護運動を全国的に展開しています。

大仙市では、文化財防火デーにさきがけ、22日に大曲地域の古四王神社と協和地域の唐松神社で防火訓練を行い、地域の文化財保護を呼びかけます。訓練後はもちつきを行い、見学者にもふるまわれますのでお気軽にお越しください。



1月22日(日)

第14回協和地域文化財防火デー

協和地域

会場／唐松神社

午前10時～

【問い合わせ】

教育委員会協和分室
018-892-3698まで

第19回古四王堂火消しもちまつり

大曲地域

会場／古四王神社

午前10時30分～

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課
0187-63-1111(内線339)まで

編集後記

▼大仙市となつて初めての新年。新しい年に胸をふくらませながら、しみじみと1年を振り返る▼広報担当となり、大仙市のことをいろいろと知ることができた昨年。合併1年目にして各地域のイベントや情報を幅広く知ることができたことは貴重な経験だ▼写真という新しい分野へも挑戦できた。少し前になるが、妻から「写真を撮るのが上手になったね」と言われ気分が良かったことを思い出す。自分でも、前よりはうまくなった気ではいたが、人から言われると格段に自信が持てた。とりあえず去年の自分より、写真を撮ることに関しては少し成長しているようだ▼毎年この時期は、1年を振り返り、出来なかった事への後悔と新たな目標・挑戦に「今年こそ」と闘志を燃やす。いつも同じことの繰り返しだが、少しでも自分の成長を感じることができるとうれしいものだ▼来年も同じことを考えているのでは。少々弱気になるが、新しいことへ挑戦し、今の自分よりも成長しようとする気持ちだけは大切にしたい。(冊)



人口と世帯数 (11/30 現在) ※()内は前月比

人口	95,651 人 (－ 53)
男	45,424 人 (－ 27)
女	50,227 人 (－ 26)
世帯数	30,406 世帯 (+ 15)

●編集発行 秋田県大仙市企画部秘書広報課 ☎0187-63-1111
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
●発行日 毎月2回(1日・16日)
●印刷 株式会社 仙北印刷所



古紙配合率100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。